

研究テーマ名	圧印時のメタルフローに関する研究
研究内容抄録	<p>有限要素法による解析方法を用いて、実工業に対してのフィードバックをすることができるようになり、レリーフ面の高さなどが極印のワレへの程度影響するかなどがわかるようになってきた。</p> <p>また四面体のメッシュの生成方法の調査として、メッシュサイズの変化による各パラメータへの影響を調査した。</p> <p>円形表面に任意に設定したポイントの移動量については、極印が接触してからのポイントの移動量が、メッシュサイズの違いによる差が少なく、シミュレーション同士の比較に適している可能性が高いことがわかった。</p> <p>また、円形表面の任意のポイントの移動量について、シミュレーション結果と実加工との比較を行った。</p>
学会発表	-